

事務連絡

平成18年12月12日

各都道府県衛生主管部（局）薬務主管課 御中

各地方厚生（支）局麻薬取締部（支所） 御中

厚生労働省医薬局監視指導・麻薬対策課

麻薬診療施設等における麻薬の廃棄について

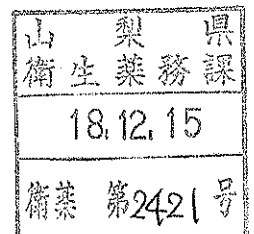
標記については、関係法規により御指導をお願いしているところですが、今般、平成18年12月8日付け薬食監麻発第1208002号厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課長通知の発出に伴い、平成12年11月10日付け事務連絡の別添（図1）から（図5）までを改めるとともに、バイアル製剤に係る取扱いを追加し、別添（図1）から（図6）までのとおり整理したので、関係者への御指導の参考とされますようお願いいたします。

担当者

厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課

麻薬係 高橋・河田

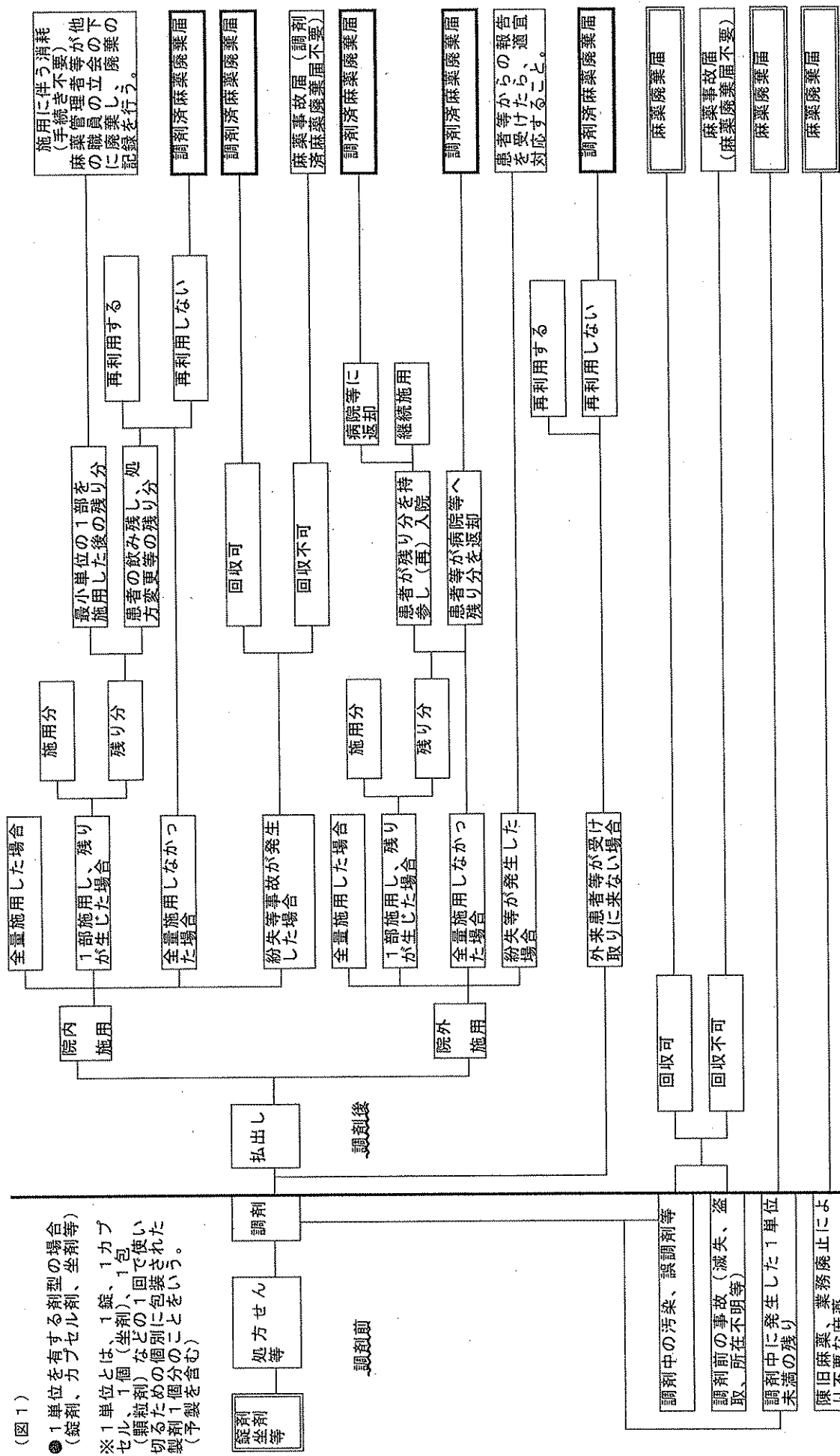
TEL 03-5253-1111 内線 2795/2780



(図1)

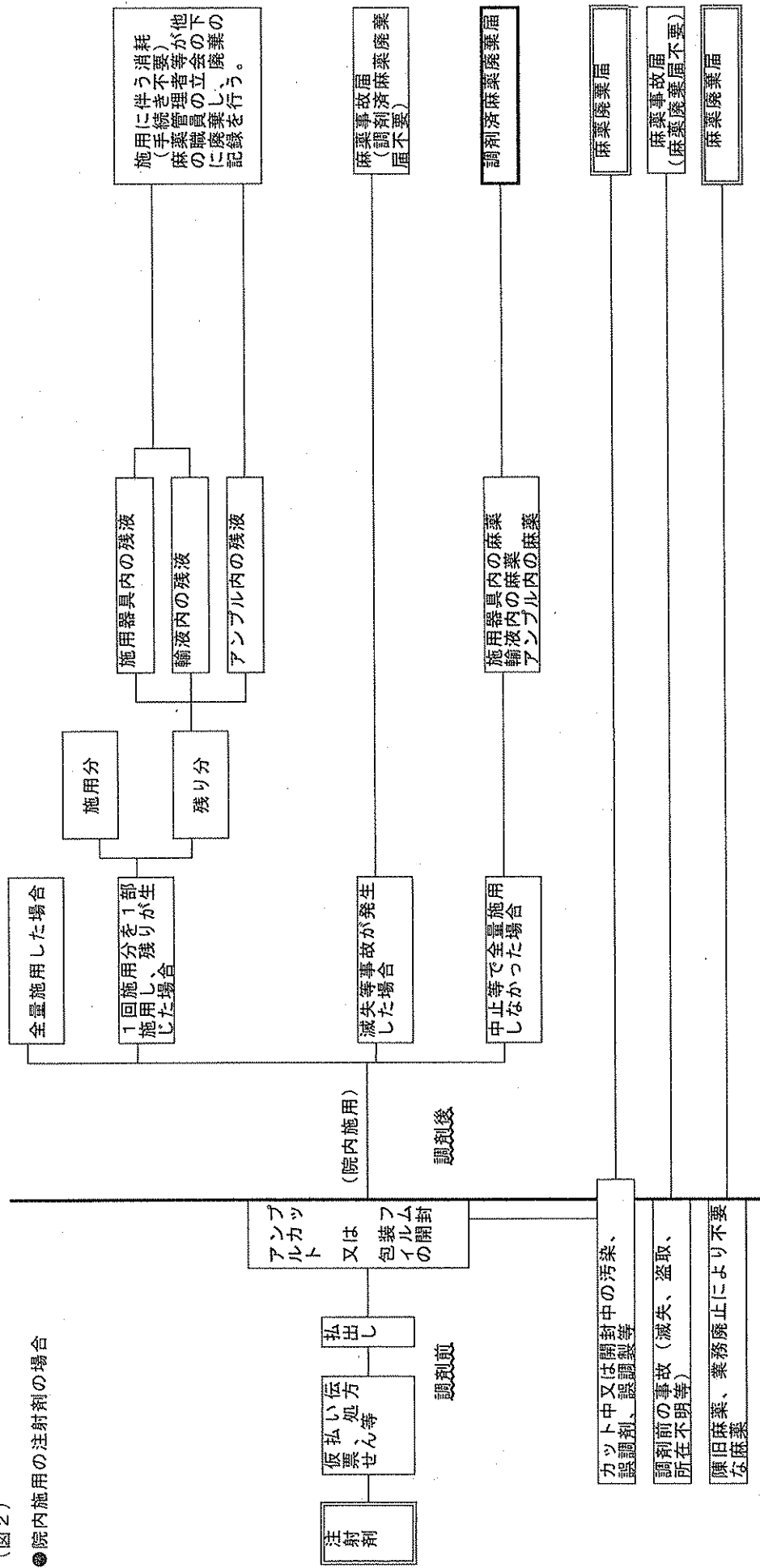
● 1単位を有する剤型の場合
(錠剤、カプセル剤、坐剤等)

※ 1単位とは、1錠、1カプセル、1個(坐剤)、1包(顆粒剤)などの1回で使い切るための個別の包装をいう。
製(予製を含む)



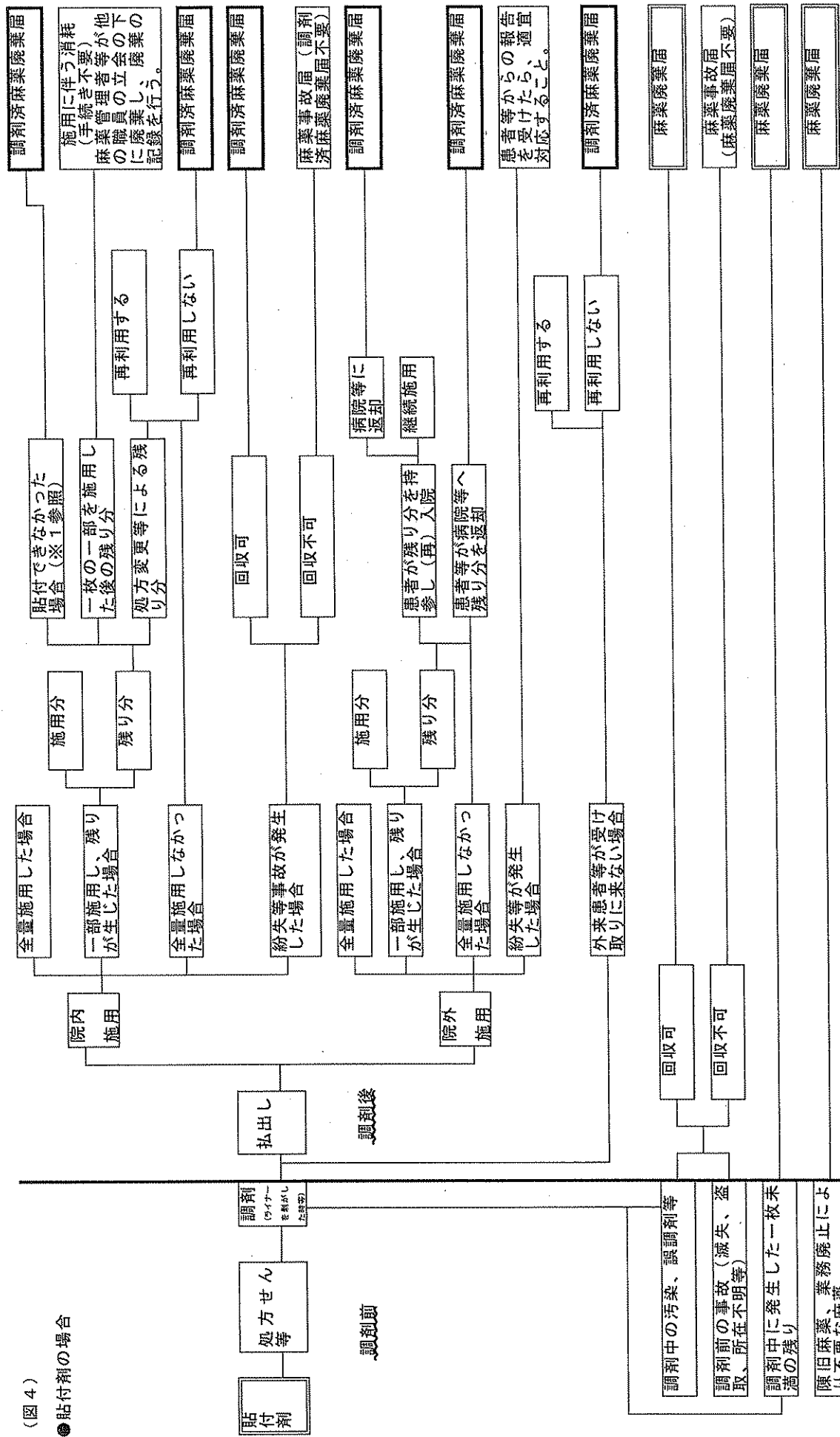
(図2)

●院内施用の注射剤の場合



(図 4)

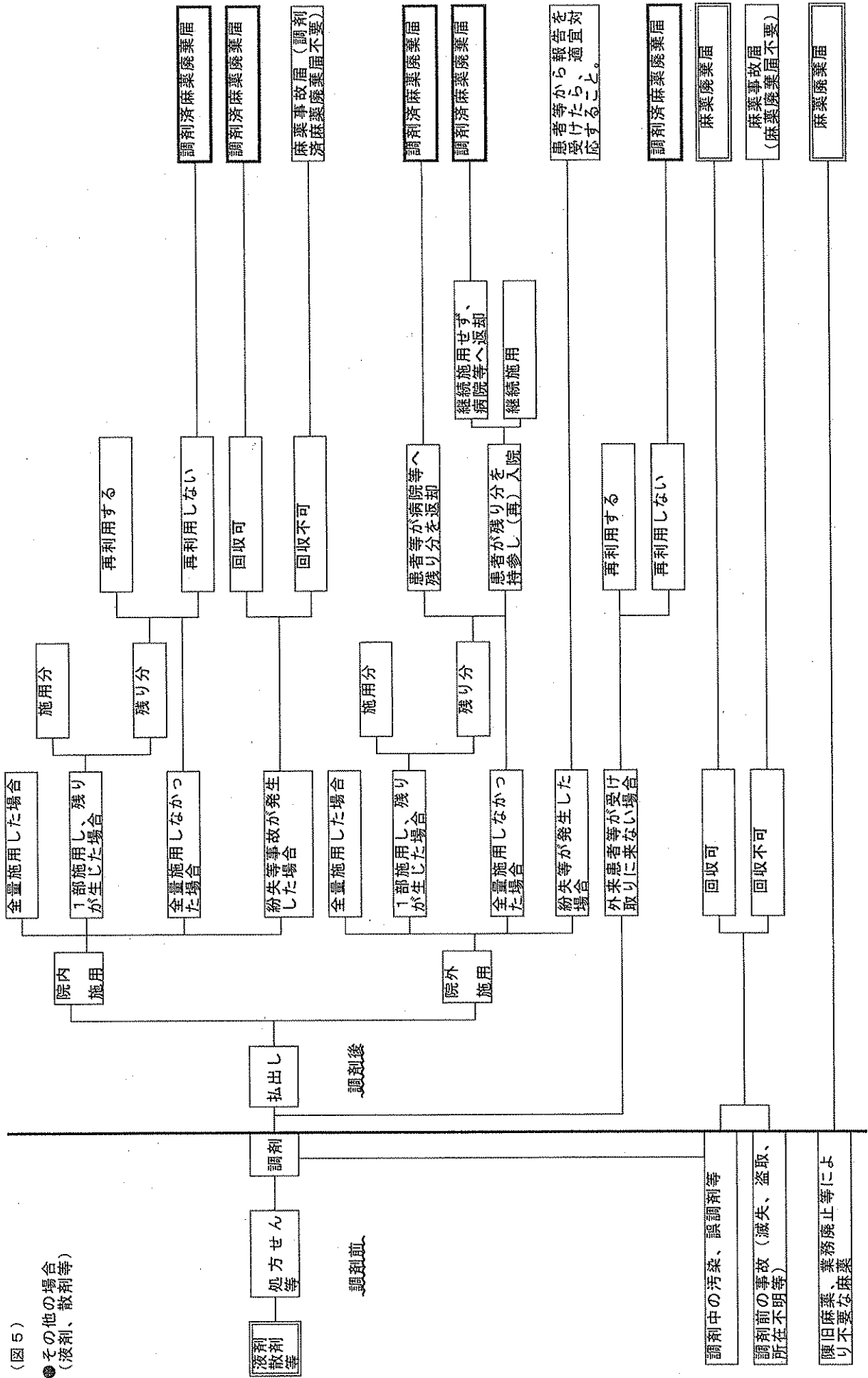
● 貼付剤の場合



(注意) ※1 ライナーから剥がすのに失敗した場合等が該当する。
 ※2 施用途中で剥離した場合や途中で施用を中止した場合、施用済みとして処理すること。
 ※3 院内で施用済み(上記※2の場合も含む。)については、麻薬管理者が全て回収し適切に廃棄すること。

(図5)

●その他の場合
(液剤、散剤等)



(図6) ●バイアル製剤の場合

